

「外国語活動・外国語の目標」の学校段階別一覧表

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方				
外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。				
目 標				
	小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語	高等学校 外国語
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、話すこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る素地となる資質・能力</u> を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力</u> を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力</u> を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、 <u>情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力</u> を次のとおり育成することを目指す。
知識及び技能	(1) 外国語を通して、言語や文化について <u>体験的に理解</u> を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、 <u>外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ</u> ようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、 <u>文構造</u> 、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、 <u>読むこと、書くことに慣れ親しみ</u> 、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる <u>実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能</u> を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、 <u>文法</u> 、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる <u>実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能</u> を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、 <u>文法</u> 、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる <u>実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能</u> を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) <u>身近で簡単な事柄</u> について、外国語で聞いたり話したりして <u>自分の考えや気持ちなどを伝え合う力</u> の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 <u>身近で簡単な事柄</u> について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、 <u>自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力</u> を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 <u>日常的な話題や社会的な話題</u> について、外国語で <u>簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力</u> を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、 <u>日常的な話題や社会的な話題</u> について、外国語で <u>情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力</u> を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、 <u>相手に配慮</u> しながら、 <u>主体的に</u> 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 <u>他者に配慮</u> しながら、 <u>主体的に</u> 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 <u>聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮</u> しながら、 <u>主体的に</u> 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 <u>聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮</u> しながら、 <u>主体的、自律的に</u> 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

※ 朱書きで下線部分は各学校段階に共通する主な内容を、ハイライト部分は各学校段階で異なる主な内容を示しています。